# 職業実践専門課程等の基本情報について

| 日本工学院等門学校   振和5167月1日   | 学校名       |             | 設置                   | 認可年月           | 日   校-                                 | 長名      |              |               | 所在地         |             |                |  |  |  |
|---|-----------|-------------|----------------------|----------------|--|---------|--------------|---------------|-------------|-------------|----------------|--|--|--|
| 設置名名  |           | ーーーー<br>『学校 |                      |                |  |         |              |               |             |             |                |  |  |  |
|   |           |             |                      |                |  |         |              |               |             |             |                |  |  |  |
| 安全   第三世紀   20  |           |             |                      |                |  |         |              |               | 144-8655    |             |                |  |  |  |
| 文化  |           |             |                      |                |  |         | (電話)         | 03-6424-1111  |             |             | <b>末明部和到中午</b> |  |  |  |
| 学科の自動   20-19年末・日本展示で設備できるために必要が技術が発動したが、執力的な人物として産業できるための承収な業態といからも場合においても原子付加すると思う。   |           |             |                      |                |  |         |              |               |             |             |                |  |  |  |
|   | 人心教養      |             |                      |                |  |         |              |               | <u> </u>    | <u> </u>    |                |  |  |  |
| 日本社会 中国   | 学科の目的     |             |                      |                |  | 技術」「知識  | 」に加え、射       | 魅力的な人物として成長   | 長できるための柔軟な発 | 想といかなる場合にお  | いても素早く行動で      |  |  |  |
| # 日本  | 可能な資格、中退  | 情報検定        | :情報活用検:<br>者 22名(3.9 | 定2級、情<br>99%)  | 報検定:情報活用検定                             | ≧3級、ビジ۶ | ネス著作権        | 検定Bベーシック      |             |             |                |  |  |  |
| 生 技術の   からに次が、  | 修業年限      | 昼夜          | 全課程の修                |                |  | 請       | 義            | 演習            | 実習          | 実験          | 実技             |  |  |  |
| 生徒形定員 生性支資(A) 留学生数では実用の内部(B) 留学生制合(B/A)   |           | 昼間          | ※単位時間、<br>かに記入       | 単位いずれ          | -                                      | 945     |              | +             | 1           |             |                |  |  |  |
| ■ 変異 表表 (で) 302 人   | ,         | 生徒到         | 実員(A)                | 留学生            |  | 留学生割    |              | +12           | +12         | +12         | +12            |  |  |  |
|   | 720 人     | 597         | 人                    |                | 7 人                                    | 1       | %            |               |             |             |                |  |  |  |
|   |           |             |                      | :              |  | l .     | <del>ا</del> | <b>-</b>      |             |             |                |  |  |  |
| 関いている。  |           |             |                      |                |  |         | <del></del>  | -             |             |             |                |  |  |  |
| 東京教育に占める地元成務者の前合 (F/E) 45 96 97 96 98 連手者数 1 人  |           | ■地元就        | 職者数(F)               |                | 136                                    |         | )            | _<br>_        |             |             |                |  |  |  |
| # 本来市に占める政策市の計合 (E/C) 97 96   |           |             |                      | 元就職老の          |  |         | %            | _             |             |             |                |  |  |  |
| ### 2   |           |             |                      |                | 45                                     |         | %            | _             |             |             |                |  |  |  |
| 東京の他  |           |             |                      | 域有の割合          |  |         | %            | _             |             |             |                |  |  |  |
| 9人 (今和 6年底を表名に関する令和1年5月1日時点の様例) ■主な影響た。素果等 (本式会社と、素果等 (本和20世ート・イベント・ホテルブライダル業界 等 (株式会社シミズオクト、株式会社サウンドクルー、株式会社東京舞台照明、ヒビ/株式会社・ヒビノ・ウンドの、株式会社市の大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大   | 就職等の状況    |             |                      |                | 1                                      | _       | 人            | _             |             |             |                |  |  |  |
| (今年 6年度や美帝に関する今和1年6月1日時点の情報) ■主な意理先、業界等 (音楽・コンサート・イベン)・ホテルブライダル業界 等(株式会社シミズオクト、株式会社サウンドクルー、株式会社東京舞台照明、ヒビノ株式会社 ヒビノケ ウンド 0 未変き社ホッスタップ・ブロモーション、株式会社明末美術 等) 無 関西の計価規則等から第三書評価: 無 所の計価規則等から第三書評価: 東部価に 学年7月: ホームページ URL  当該学科の ホームページ Inttp://www.neec.ac.jp/department/design/graphics/ URL  (A:単位時間による算定)  (A:単位時間による算定)  (A:単位時間による算定)  (A:単位時間による算定)  (B:単位禁持数   |           |             |                      |                |  |         |              |               |             |             |                |  |  |  |
| ■主な放照点、業界等 (令和8年度を担) 容素・コンサート・イベント・ホテルブライダル業界 等(株式会社シミズナウト、株式会社中ウンドウルー、株式会社東京舞合照明、ヒビノ株式会社 ヒビノケウンド D 本式会社ホンスタッフ・プロモーション、株式会社現栄美術 等)  第三者による  |           | 9人          |                      |                |  |         |              |               |             |             |                |  |  |  |
| (令前の地震攻撃生) 音楽・コンサート・ベスト・ホマルブライダル業界 等 (株式会社シミズオウト、株式会社東京舞台開明、ヒビノ株式会社 ヒビノケウンド D、株式会社所水スタウフ・プロモーション、株式会社明栄美術 等)  |           | (令和         | 6 4                  | 年度卒業者          | に関する令和7年5月1日                           | 日時点の情報  | <u>}</u> )   |               |             |             |                |  |  |  |
| 音楽・コンサート・イベントホテルブライダル東京 等体式会社シミズオウト、株式会社東京舞台照明、ヒビノ株式会社 ヒビノケウンド D、株式会社東京舞台照明、ヒビノ株式会社 Eビノケウンド D、株式会社東京舞台照明、ヒビノ株式会社 Eビノケウンド D、株式会社東京教育会 無 無 ※ 利の場合、例えば以下について任意記鑑   |           |             |                      | 等              |  |         |              |               |             |             |                |  |  |  |
| 第三書による 常知語 第三書による 学校評価 第一編 (開始 )  |           |             |                      | ミント・ホテ         | - ルブライダル,業 男                           | 笙(姓式会   | :オナシンミ ブラ    | トクト 株式会社サウン   | ・バクルー 株式会社  | 事方無公昭昭 ヒビ   | /井式会社 ヒビ /井    |  |  |  |
| 第三者による 学校評価  ※有の場合、例えば以下について任意記載 評価団体: 受害年月: 評価温来を掲載した ホームページ Nttp://www.necc.ac.jp/department/design/graphics/  (A:単位時間による算定)  秘授業時数  「うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数 「うちの修授業時数 「うちの修授業時数 「うちの修授業時数 「うちの修授業時数 「うちの修育等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数 「の 単位時間」 「うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数 「の 単位時間」 「うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数 「の 単位時間」 「うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数 「の 単位時間」 「うち企業等と連携したがの実験・実習・実技の授業時数 「の 単位の時間」 「うちの業等と連携したがの実験・実習・実技の授業時数 「の 単位時間」 「うちの業等と連携したが多の演習の授業時数 「の 単位時間」 「うちの業等と連携したが多い。 「方の企業等と連携したが多い。 「方の企業等と連携したが多い。 「方の企業等と連携したが多いの実験・実習・実技の授業時数 「単位」 「方の企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数 単位 「方の企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数 単位 「方の企業等と連携した必修の演習の授業時数 単位 「うち企業等と連携した必修の演習の授業時数 単位 「うち企業等と連携した必修の演習の授業時数 単位 「うち企業等と連携したがの実験・実習・実技の授業時数 単位 「方を企業等と連携したがの表別の保護時数 単位 「方を企業等と連携したがの実験・実習・実技の授業時数 単位 「方を企業等と連携した必修の演習の検験・実習・実技の授業時数 単位 「方を企業等と連携したがの表別の検験・実習・実技の授業時数 「単位 「方を企業等と連携したがの表別の表別を表別の表別を表別の表別の表別を表別の表別の表別を表別の表別の表別の表別を表別の表別の表別の表別の表別の表別の表別の表別の表別の表別の表別の表別の表別の表 |           |             |                      |                |  |         |              |               | ンドブル 、休氏去社  | 木ぶ舞口 無切、ここ) | 休以去社 こことり      |  |  |  |
| # 2 日本 2 日  |           |             |                      |                |  |         |              | 無             |             |             |                |  |  |  |
| 当該学科の ホームページ URL  (A:単位時間による算定)    括理   |           | 次有の場合       | こっかんはみい              | IC JUICE       | 心心似                                    |         |              | 3             | 平価は用た提齢) た  |             |                |  |  |  |
| Attp://www.necs.ac.jp/department/design/graphics/URL  | ) 1×11 Im |             | 評価団体:                |                |  | 受審年月:   |              | π<br>Σ        | ナームページURL   |             |                |  |  |  |
| (A:単位時間による算定)    おり   |           |             |                      |                |  | ,       |              |               |             |             |                |  |  |  |
| 総授業時数 2,265 単位時間 うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数 1,575 単位時間 うち企業等と連携した演習の授業時数 0 単位時間 うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数 1,770 単位時間 うち企業等と連携した必修の演習の授業時数 0 単位時間 うち企業等と連携したなどの演習の授業時数 0 単位時間 (うち企業等と連携したインターンシップの授業時数) 450 単位時間 (こ記入)  (B:単位数による算定) 単位 数による算定) 単位 うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数 単位 うち企業等と連携した演習の授業時数 単位 うち企業等と連携した次修の演習の授業時数 単位 うち企業等と連携した必修の演習の授業時数 単位 うち企業等と連携した必修の演習の授業時数 単位 (うち企業等と連携した必修の演習の授業時数 単位 (うち企業等と連携した必修の演習の授業時数 単位 (うち企業等と連携した必修の演習の授業時数 単位 (うち企業等と連携した必修の演習の授業時数 単位 (うち企業等と連携した必修の演習の授業時数 単位 (うち企業等と連携したとの場別の授業時数 単位 (うち企業等と連携したとの場別の授業時数 単位 (うち企業等と連携したとの場別の授業時数 単位 (うち企業等と連携したインターンシップの授業時数) 単位 (事修学校設置基準第41条第1項第1号) 9 人 (事修学校設置基準第41条第1項第3号) 3 人 3 高等学校教諭等経験者 (事修学校設置基準第41条第1項第3号) 0 人 (修士の学位文は専門職学位 (事修学校設置基準第41条第1項第3号) 0 人  |           | http://wv   | vw.neec.ac.jp        | p/departr      | ment/design/graphic                    | ss/     |              |               |             |             |                |  |  |  |
| 総授業時数 2,265 単位時間 うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数 1,575 単位時間 うち企業等と連携した演習の授業時数 0 単位時間 うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数 1,770 単位時間 うち企業等と連携した必修の演習の授業時数 0 単位時間 うち企業等と連携したなどの演習の授業時数 0 単位時間 (うち企業等と連携したインターンシップの授業時数) 450 単位時間 (こ記入)  (B:単位数による算定) 単位 数による算定) 単位 うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数 単位 うち企業等と連携した演習の授業時数 単位 うち企業等と連携した次修の演習の授業時数 単位 うち企業等と連携した必修の演習の授業時数 単位 うち企業等と連携した必修の演習の授業時数 単位 (うち企業等と連携した必修の演習の授業時数 単位 (うち企業等と連携した必修の演習の授業時数 単位 (うち企業等と連携した必修の演習の授業時数 単位 (うち企業等と連携した必修の演習の授業時数 単位 (うち企業等と連携した必修の演習の授業時数 単位 (うち企業等と連携したとの場別の授業時数 単位 (うち企業等と連携したとの場別の授業時数 単位 (うち企業等と連携したとの場別の授業時数 単位 (うち企業等と連携したインターンシップの授業時数) 単位 (事修学校設置基準第41条第1項第1号) 9 人 (事修学校設置基準第41条第1項第3号) 3 人 3 高等学校教諭等経験者 (事修学校設置基準第41条第1項第3号) 0 人 (修士の学位文は専門職学位 (事修学校設置基準第41条第1項第3号) 0 人  |           | (A:単位       | 立時間による               | 算定)            |  |         |              |               |             |             |                |  |  |  |
| うち企業等と連携した演習の授業時数   |           |             |                      |                |  |         |              |               |             | 2,265 単位時間  |                |  |  |  |
| うち必修好業時数  |           |             | -                    | うち企業等          | を連携した実験・実                              | 習・実技の担  | 受業時数         |               |             | 1,575 単位時間  |                |  |  |  |
| □ 方ち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数 単位時間   うち企業等と連携した必修の演習の授業時数  |           |             | -                    | うち企業等          | を連携した演習の授業                             | 業時数     |              |               |             | 0 単位時間      |                |  |  |  |
| うち企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、Bいずれかしに記入)   日:単位数による算定   単位   一方企業等と連携したインターンシップの授業時数   単位   一方企業等と連携した実際・実習・実技の授業時数   単位   一方企業等と連携した演習の授業時数   単位   一方企業等と連携した演習の授業時数   単位   一方企業等と連携した演習の授業時数   単位   一方企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数   単位   一方企業等と連携した必修の演習の授業時数   単位   一方企業等と連携した必修の演習の授業時数   単位   一方企業等と連携した必修の演習の授業時数   単位   一方企業等と連携した必修の演習の授業時数   単位   「方企業等と連携した必修の演習の授業時数   単位   「方企業等と連携した必修の演習の授業時数   単位   「方企業等と連携した必修の演習の授業時数   単位   「方企業等と連携した必修の演習の授業時数   単位   「方企業等と連携した必修の演習の授業時数   単位   「方企業等と連携した必修の演習の授業時数   単位   「一次の担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算   「事修学校設置基準第41条第1項第1号)   9 人   「一次での関係を実施した場間とを通算   「事修学校設置基準第41条第1項第2号)   3 人   「事修学校設置基準第41条第1項第3号)   0 人   「事修学校設置基準第41条第1項第3号)   0 人   「事修学校設置基準第41条第1項第4号)   0 人   (事修学校設置基準第41条第1項第4号)   0 人   (事修学校設置基準第41条第1項第4号)   0 人   (事修学校設置基準第41条第1項第4号)   0 人   |           |             | -                    |                |  |         |              |               |             | 1,770 単位時間  |                |  |  |  |
| 企業等と連携した<br>実習等の実施状況<br>(A、Bいずれか<br>(に記入)    後授業時数 単位   うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数   単位   うち企業等と連携した演習の授業時数   単位   うち企業等と連携した演習の授業時数   単位   うち企業等と連携した政権の実験・実習・実技の授業時数   単位   うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数   単位   うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数   単位   うち企業等と連携した必修の演習の授業時数   単位   うち企業等と連携した必修の演習の授業時数   単位   「うち企業等と連携した必修の演習の授業時数   単位   「うち企業等と連携した必修の演習の授業時数   単位   「でその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)   9 人   「中間課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)   3 人   ③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)   0 人   ④ 修士の学位文は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)   0 人   |           |             |                      |                | うち企業等と連携した                             | と必修の実際  | 険・実習・        | 実技の授業時数       |             | 単位時間        |                |  |  |  |
| (B:単位数による算定)  (B:単位数による算定)  総授業時数  単位  うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数  単位  うち必修授業時数  単位  うち必修授業時数  単位  うち必修授業時数  単位  うち必修授業時数  単位  うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数  単位  うち企業等と連携した必修の演習の授業時数  単位  (うち企業等と連携したシをの演習の授業時数  単位  (うち企業等と連携したシをの演習の授業時数  単位  (うち企業等と連携したシをの演習の授業時数)  単位  (うち企業等と連携したシをの演習の授業時数)  単位  (うち企業等と連携したシをの演習の授業時数)  単位  (うち企業等と連携したが、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した相間とを通算して六年以上となる者  ② 学士の学位を有する者等  ② 学士の学位を有する者等  ③ 高等学校教諭等経験者  ③ 高等学校教諭等経験者  ③ 「専修学校設置基準第41条第1項第3号)  ③ 人  ③ 高等学校教諭等経験者  ③ 停修学校設置基準第41条第1項第3号)  ④ 体士の学位又は専門職学位  ③ 「専修学校設置基準第41条第1項第4号)  ○ 人   |           |             |                      |                | うち企業等と連携した                             | と必修の演習  | 習の授業時        | 数             |             | 0 単位時間      |                |  |  |  |
| (B:単位数による算定) 総授業時数 単位 うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数 単位 うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数 単位 うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数 単位 うち企業等と連携した必修の演習の授業時数 単位 (うち企業等と連携した必修の演習の授業時数 単位 (うち企業等と連携したインターンシップの授業時数 単位 (うち企業等と連携したインターンシップの授業時数) 単位  ① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した規固とを通算 して、不知上となる者 ② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号) 3 人 ③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号) 0 人  |           |             |                      | (うち企業          | 等と連携したインター                             | ーンシップの  | の授業時数        | )             |             | 450 単位時間    |                |  |  |  |
| (B:単位数による昇走) 総授業時数 単位 うち企業等と連携した演習の授業時数 単位 うち企業等と連携した演習の授業時数 単位 うち必修授業時数 単位 うち必修授業時数 単位 うち企業等と連携した必修の演習の授業時数 単位 (うち企業等と連携した必修の演習の授業時数 単位 (うち企業等と連携したが多の演習の授業時数 単位 (うち企業等と連携したインターンシップの授業時数) 単位  ① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した相間とを通算 して六年以上となる者 ② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号) ② 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号) ② 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号) ② 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号) ② 人  | (A、Bいずれか  | l           | <b>六米/ レフ か・</b>     | ф)             |  |         |              |               |             |             |                |  |  |  |
| うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数   単位   うち企業等と連携した演習の授業時数   単位   うち企業等と連携した演習の授業時数   単位   うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数   単位   うち企業等と連携した必修の演習の授業時数   単位   うち企業等と連携したインターンシップの授業時数   単位   (うち企業等と連携したインターンシップの授業時数   単位   単位   (「うち企業等と連携したインターンシップの授業時数   単位   単位   (「の担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程を修了となる者   (専修学校設置基準第41条第1項第1号)   9 人   して六年以上となる者   ② 学士の学位を有する者等   (専修学校設置基準第41条第1項第2号)   3 人   ③ 高等学校教諭等経験者   (専修学校設置基準第41条第1項第3号)   0 人   ④ 修士の学位又は専門職学位   (専修学校設置基準第41条第1項第4号)   0 人  | に記入)      | (口:甲位       |                      |                |  |         |              |               |             | 単位          |                |  |  |  |
| うち企業等と連携した演習の授業時数   単位   うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数   単位   うち企業等と連携した必修の演習の授業時数   単位   うち企業等と連携した必修の演習の授業時数   単位   (うち企業等と連携したインターンシップの授業時数   単位   (「ち企業等と連携したインターンシップの授業時数   単位   (「ち企業等と連携したインターンシップの授業時数   単位   (「ち企業等と連携したインターンシップの授業時数   単位   (「中枢学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者   (専修学校設置基準第41条第1項第1号)   9 人   (「本格学校設置基準第41条第1項第2号)   3 人   ③ 高等学校教諭等経験者   (専修学校設置基準第41条第1項第3号)   0 人   ④ 修士の学位又は専門職学位   (専修学校設置基準第41条第1項第4号)   0 人  |           |             | _                    |                | を連携した実験・実                              | 習・実技の料  | 受業時数         |               |             |             |                |  |  |  |
| うち必修授業時数   単位   うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数   単位   うち企業等と連携した必修の演習の授業時数   単位   うち企業等と連携したインターンシップの授業時数   単位   (うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)   単位   (うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)   単位   (事修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年度と当該業務に従事した期間とを通算   (事修学校設置基準第41条第1項第1号)   9 人   して六年以上となる者   ② 学士の学位を有する者等   (専修学校設置基準第41条第1項第2号)   3 人   ③ 高等学校教諭等経験者   (専修学校設置基準第41条第1項第3号)   0 人   ④ 修士の学位又は専門職学位   (専修学校設置基準第41条第1項第4号)   0 人   |           |             | _                    |                |  |         |              |               |             |             |                |  |  |  |
| うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数 単位   うち企業等と連携した必修の演習の授業時数 単位   (うち企業等と連携したインターンシップの授業時数) 単位   (うち企業等と連携したインターンシップの授業時数) 単位   (うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)   単位   (うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)   単位   (うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)   単位   (事修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程を修了した後、学校等において表現となる者   (専修学校設置基準第41条第1項第1号)   9 人   (専修学校設置基準第41条第1項第2号)   3 人   (事修学校設置基準第41条第1項第3号)   0 人   (事修学校設置基準第41条第1項第4号)   0 人   (事修学校設置基準第41条第1項第4号)   0 人  |           |             | -                    |                |  |         |              |               |             |             |                |  |  |  |
| (うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)  ① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程を修了した後、当該業務に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者  ② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号) 3 人 ③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号) 0 人   |           |             |                      |                |  | こ必修の実際  | 演・実習・        | 実技の授業時数       |             |             |                |  |  |  |
| ① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程を修了した後、当該専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年間となる者  ② 学士の学位を有する者等  ② 学士の学位を有する者等  ③ 高等学校教諭等経験者  ③ 高等学校教諭等経験者  ④ 修生の学位とは専門職学位  ② 博修学校設置基準第41条第1項第3号)  ○ 人  ④ 修生の学位又は専門職学位  ② 博修学校設置基準第41条第1項第3号)  ○ 人   |           |             |                      |                | うち企業等と連携した                             | と必修の演習  | 習の授業時        | 数             |             | 単位          |                |  |  |  |
| でその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者     (専修学校設置基準第41条第1項第1号)       ② 学士の学位を有する者等     (専修学校設置基準第41条第1項第2号)       教員の属性(専任教員について記入)     ③ 高等学校教諭等経験者     (専修学校設置基準第41条第1項第3号)       入)     ④ 修士の学位又は専門職学位     (専修学校設置基準第41条第1項第3号)       0 人   |           |             |                      | (うち企業          | 等と連携したインター                             | ーンシップの  | の授業時数        | )             |             | 単位          |                |  |  |  |
| てその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者  ② 学士の学位を有する者等  (専修学校設置基準第41条第1項第2号)  3 人  教員の属性 (専任教員について記入)  ④ 修士の学位又は専門職学位  (専修学校設置基準第41条第1項第3号)  0 人   |           |             |                      |                |  |         |              |               | <del></del> |             |                |  |  |  |
| てその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者  ② 学士の学位を有する者等  (専修学校設置基準第41条第1項第2号)  3 人  教員の属性 (専任教員について記入)  ④ 修士の学位又は専門職学位  (専修学校設置基準第41条第1項第3号)  0 人   |           |             |                      |                |  |         |              |               |             |             |                |  |  |  |
| 教員の属性 (専任<br>教員について記<br>入)     ③ 高等学校教諭等経験者     (専修学校設置基準第41条第1項第3号)     0 人       ④ 修士の学位又は専門職学位     (専修学校設置基準第41条第1項第4号)     0 人  |           |             | てその担当す               | する教育等<br>業年限と当 | Fに従事した者であっ <sup>-</sup><br>A該業務に従事した期間 | て、当該専   | (専修芸         | 学校設置基準第41条第11 | 頁第1号)       | 9 人         |                |  |  |  |
| 教員について記<br>入) (専修学校設置基準第41条第1項第4号) 0 人  |           |             | ② 学士の                | 学位を有す          | - る者等                                  |         | (専修          | 学校設置基準第41条第1項 | 頁第2号)       | 3 人         |                |  |  |  |
| 教員について記<br>入) (専修学校設置基準第41条第1項第4号) 0 人  |           |             | ③ 高等学校               | 校教諭等紹          | E<br>験者                                |         | (専修          | 学校設置基準第41条第11 | 頁第3号)       | 0 人         |                |  |  |  |
| 20  | 教員について記   |             | ④ 修士の                | 学位又は専          | 門職学位                                   |         | (専修          | 学校設置基準第41条第1年 | 頁第4号)       | 0 人         |                |  |  |  |
| 3   | χ)        |             |                      |                |  |         |              |               |             | 1人          |                |  |  |  |
| 計 13 人  |           |             |                      |                |  |         |              |               |             |             |                |  |  |  |
|   |           |             |                      |                |  |         |              |               |             | 7           |                |  |  |  |
| 上記①~⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度<br>の実務の能力を有する者を想定)の数   |           | i           |                      |                |  |         |              |               |             |             |                |  |  |  |
|   |           |             |                      |                |  | †るおおむネ  | ね5年以上        | の実務の経験を有し、    | かつ、高度       | 11 人        |                |  |  |  |

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本 方針

コンサート・音楽業界に関し、適宜、企業等へのヒアリングを実施し、実務に関する知識、技術を調査して、カリキュラムに反映させる。また、年度毎に既存のカリキュラムについて総合的に検証する。授業科目のシラバスをもとに、科目担当教員と企業講師との間で意見交換を行い、内容や評価方法を定める。また、学習評価を踏まえ、授業内容及び方法について検証

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会は、校長を委員長とし、副校長、学科責任者、教育・学生支援部員、学科から委嘱された業界団体及 び企業関係者から各3名以上を委員として構成する。

本委員会は、産学連携による学科カリキュラム、本学生に対する講義科目および演習、実習、インターンシップおよび学内 または学外研修、進級・卒業審査等に関する事項、自己点検・評価に関する事項、その他、企業・業界団体等が必要とする

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年4月1日現在

| 名 前   | 所 属                                     | 任期                         | 種別 |
|-------|---|----------------------------|----|
| 今泉 裕人 | 一般社団法人 コンサートプロモーターズ協会 事務局長              | 令和7年4月1日<br>~令和8年3月31日(1年) | 1  |
| 今井 常夫 | PRG株式会社 代表取締役                           | 令和7年4月1日<br>~令和8年3月31日(1年) | 3  |
| 佐藤 純平 | 株式会社エムエスアイジャパン東京                        | 令和7年4月1日<br>~令和8年3月31日(1年) | 3  |
| 中村 英詞 | 日本工学院専門学校 校長                            | 令和7年4月1日<br>~令和8年3月31日(1年) | _  |
| 井口 雅仁 | 日本工学院専門学校 ミュージックカレッジ<br> カレッジ長          | 令和7年4月1日<br>~令和8年3月31日(1年) | _  |
| 森永 直樹 | 日本工学院専門学校 ミュージックカレッジ<br> コンサート・イベント科 科長 | 令和7年4月1日<br>~令和8年3月31日(1年) | _  |
| 鈴木 裕大 | 日本工学院専門学校 ミュージックカレッジ<br>コンサート・イベント科 主任  | 令和7年4月1日<br>~令和8年3月31日(1年) | _  |
|       |   |                            | _  |

- ※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。 (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。)
  - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
  - ②学会や学術機関等の有識者
  - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年間開催は2回の予定、開催時期は9月及び3月の予定

(開催日時(実績))

2024年4月

2025年7月

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

教育課程編成委員会から、議事録は新入社員に書かせる企業も多く、文章を要約してまとめるスキルが直ぐに必要になるため、新聞記事を要約させる要望があった。現在キャリアデザイン科目で新聞記事要約の取り入れて授業内容を改善し反映させている。

- |2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係
- (1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

コンサート制作・運営・進行・オペレートの実習において、実践的な指導を受けるためにコンサート・音楽業界での実績のある企業を選定している。また、指導を受けるにあたっては各分野で必要となる知識、技術、感性を有している講師の派遣などの協力が得られることが可能な企業を選定している。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

学科担当教員と連携企業の(株)ホットスタッフ・プローモーションとの間でコンサート技術や知識について意見を交換し、授業計画、評価方法、学生指導上の問題点、改善案などを計画し、実際に年2回(7月・1月)Zepp Haneda等使ってライブ実習を行う。企画立案から本番運営までの過程における授業内容・方法等について検証し、学生指導上での問題点、改善案を話し合う。授業の成果物をもとに派遣講師が採点し、学科担当教員とともに成績評価・単位認定を行う。

| ( | (3)具体的な連携の例※  | 科目数については代表的な5科目について記載。            |                           |
|---|---------------|-----------------------------------|---------------------------|
|   | 科 目 名         | 科目概要                              | 連携企業等                     |
|   | コンサートプロダクト1~4 | コンサート制作コース<br>最新の情報共有、専門的な実習を行います | HOT STUFF PROMOTION, ACPC |
|   | コンサートプロダクト1~4 | イベント企画コース<br>最新の情報共有、専門的な実習を行います  | HOT STUFF PROMOTION, ACPC |
|   | コンサートプロダクト1~4 | コンサートPAコース<br>最新の情報共有、専門的な実習を行います | MSI, PRG                  |
|   | コンサートプロダクト1~4 | コンサート照明コース<br>最新の情報共有、専門的な実習を行います | MSI, PRG                  |
|   | コンサートプロダクト1~4 | コンサート舞台コース<br>最新の情報共有、専門的な実習を行います | MSI, PRG                  |

## 3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

## (1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

「研修規程第1条 教員が専攻分野における授業科目や授業科目以外の担当業務等指導力の修得と向上を目的として、企業等連携研修を行う講義と実習、演習の精度を高めるため、学科関連企業の協力のもと、企業等連携研修に関する規定」における目的に沿い、講義と実習、演習の精度を高めるため、学科関連企業の協力のもと学科の内容や教員のスキルに合わせた最新の技術力と技能、人間力を修得させる。また、学校全体の教員研修を実施することにより、学生指導力の向上を図り、次年度へのカリキュラムや学科運営に反映させる。

#### (2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: フイノエンダアイメント過去 最 品 金 となった 2024年 と これ か 連携企業等: ACPC

期間: 2025年 4月 対象: 教員

内容 動員数・市場規模ともに過去最高を記録した2024年を振り返り、2025年以降業界がどのように推移していく

かを知る

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: Generative AIの活用と教育への導入 連携企業等: HOT STUFF

期間: 2025年 7月 対象: 教員

内容 生成AIがコンサート業界にどのように導入されていくかを知り、業界を志す学生にどのように指導するかを

<sup>内谷</sup> 学ぶ

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: は 連携企業等: HOT STUFF、MSI、PRG

期間: 2025年 3月 対象: 教員

<u> 内谷 知る</u> ②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 教員研修 連携企業等: HOT STUFF PROMOTION

期間: 2025年 8月 対象: 教員

内容 AIと教育の未来について

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。 また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

#### (1)学校関係者評価の基本方針

専修学校における学校評価ガイドラインに沿っておこなうことを基本とし、自己評価の評価結果について、学校外の関係者による評価を行い、客観性や透明性を高める。学校関係者評価委員会として卒業生や地域住民、高等学校教諭、専攻分野の関係団体の関係者等で学校関係者評価委員会を設置し、当該専攻分野における関係団体においては、実務に関する知見を生かして、教育目標や教育環境等について評価し、その評価結果を次年度の教育活動の改善の参考とし学校全体の専門性や指導力向上を図る。また、学校関係者への理解促進や連携協力により学校評価による改善策などを通じ、学校

運営の改善の参考とする。 (2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

| ガイドラインの評価項目   | 学校が設定する評価項目     |
|---------------|-----------------|
| (1)教育理念·目標    | (1)教育理念・目標      |
| (2)学校運営       | (2)学校運営         |
| (3)教育活動       | <b> (3)教育活動</b> |
| (4)学修成果       | (4)学修成果         |
| (5)学生支援       | (5)学生支援         |
| (6)教育環境       | (6)教育環境         |
| (7)学生の受入れ募集   | (7)学生の受入れ募集     |
| (8)財務         | [(8)財務          |
| (9)法令等の遵守     | (9)法令等の遵守       |
| (10)社会貢献・地域貢献 | (10)社会貢献・地域貢献   |
| (11)国際交流      |                 |

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

精神面による体調不良に悩む学生に対しての当校のサポート体制について委員に現状を説明したところ、多くの委員から以下のご意見を頂いた。

- ・企業内でも新入社員など若手が精神面による体調不良で就業に影響が出るケースが増えている。
- ・原因の一つとして、コロナ禍にあったここ数年で学生時代に人間関係構築の場が少なかった事も影響があるのではないか。

以上のご意見を踏まえ、当科では以下のように活用していく。

- ・在学中のみならず学生が社会に出てからも心身ともに健康に生活できるよう、学生時代にしか経験できない人間関係構築の場をより多くつくり、学業以外のイベントや部活動等に対しても支援に努めていく。
- ・当校には専門的な知識と経験を持つスタッフが在中するヘルスサポートセンターがあり、当科の担任は悩みを持つ学生に対して、ヘルスサポートセンターとの連携をより強め、安心して学生生活を送れるよう支援に努めていく。

# (4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

| 名 前   | 所 属                          | 任期                         | 種別               |
|-------|------------------------------|----------------------------|------------------|
|       | セントラル電子制御株式会社                | 令和7年4月1日                   | IT企業等委員          |
|       | 最高顧問                         | ~令和8年3月31日(1年)             | /卒業生委員           |
|       | 株式会社マックス                     | 令和7年4月1日                   | 地域関連/            |
|       | 専務取締役                        | ~令和8年3月31日(1年)             | 会計専門委員           |
| 壺阪 敏秀 | 株式会社テレビ神奈川 取締役・編成局長兼報道局長     | 令和7年4月1日<br>~令和8年3月31日(1年) | クリエイターズ<br>企業等委員 |
|       | CG-ARTS協会(公益財団法人 画像情報教育振興協会) | 令和7年4月1日                   | クリエイターズ/デザイ      |
|       | 教育事業部教育推進グループセクションチーフ        | ~令和8年3月31日(1年)             | ン企業等委員           |
| 吉崎 彰  | 一般社団法人 大田工業連合会               | 令和7年4月1日                   | テクノロジー           |
|       | 事務局長                         | ~令和8年3月31日(1年)             | 企業等委員            |
| 田山 順一 | 一般社団法人コンサートプロモーターズ協会         | 令和7年4月1日                   | ミュージック           |
|       | 常務理事                         | ~令和8年3月31日(1年)             | 企業等委員            |
|       | 学校法人上野塾 東京実業高等学校<br>進路指導部部長  | 令和7年4月1日<br>~令和8年3月31日(1年) | 学校関連             |

))

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・ 広報誌等の刊行物・ その他(

URL: https://www.neec.ac.jp/public/

公表時期: 令和7年9月30日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

教育目標や教育活動の計画、実績等について、企業や学生とその保護者に対し、必要な情報を提供して十分な説明を行うことにより、学校の指導方針や課題への対応方策等に関し、企業と教職員と学生や保護者との共通理解が深まり、学校が 抱える課題・問題等に関する事項についても信頼関係を強めることにつながる。また、私立学校の定めに基づき「財産目 (2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

| (2) 寺门子校にあける情報提供寺、の城地に |                          |
|------------------------|--------------------------|
| ガイドラインの項目              | 学校が設定する項目                |
|                        | 学校の現況、教育理念・目的・育成人材像、事業計画 |
| (2)各学科等の教育             | 目標の設定、教育方法・評価等、教員名簿      |
| (3)教職員                 | 教員・教員組織                  |
| (4)キャリア教育・実践的職業教育      | 就職等進路、学外実習・インターンシップ等     |
| (5)様々な教育活動・教育環境        | 施設·設備等                   |
| (6)学生の生活支援             | 中途退学への対応、学生相談            |
| (7)学生納付金・修学支援          | 学生生活、学納金                 |
| (8)学校の財務               | 財務基盤、資金収支計算書、事業活動収支計算書   |
| (9)学校評価                | 学校評価                     |
| (10)国際連携の状況            | 学校の現況、教育理念・目的・育成人材像、事業計画 |
| (11)その他                | 目標の設定、教育方法・評価等、教員名簿      |

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他( ))

URL: https://www.neec.ac.jp/public/

公表時期: 令和7年9月30日

# 授業科目等の概要

|    | (芸術専門課程 コンサート・イベント科) |      |   |                         |  |             |      |     |   |    |          |   |    |   |   |         |
|----|----------------------|------|---|-------------------------|--|-------------|------|-----|---|----|----------|---|----|---|---|---------|
|    |                      | 分類   | Į |                         |  |             |      |     | 授 | 業プ | 方法       | 場 | 所  | 教 | 員 |         |
|    |                      | 選択必修 | 由 | 授業科目名                   | 授業科目概要   | 配当年次・学期     | 授業時数 | 単位数 |   | 演習 | 実験・実習・実技 |   | 校外 |   |   | 企業等との連携 |
| 1  | 0                    |      |   |                         | 自分の人生のキャリアについて、すべてに<br>共通するスキルを学びます。   | 1<br>•<br>前 | 30   | 2   | 0 |    |          | 0 |    | 0 |   |         |
| 2  | 0                    |      |   |                         | 自分の人生のキャリアについて、すべてに<br>共通するスキルを学びます。   | 1<br>• 後    | 30   | 2   | 0 |    |          | 0 |    | 0 |   |         |
| 3  |                      |      | 0 | スポーツ実習<br>1             | レクリエーションを兼ねた短期のスポーツ<br>講座を、カレッジ全体で行います。  | 1<br>•<br>通 | 30   | 2   | 0 |    |          | 0 |    | 0 |   |         |
| 4  |                      |      | 0 | ボランティア<br>1             | 社会貢献、地域貢献といった体験を通し<br>て、自身も社会に関わる喜びを得ていきま<br>す。  | 1<br>•<br>通 | 30   | 2   | 0 |    |          | 0 |    | 0 |   |         |
| 5  | 0                    |      |   | 外国語 1                   | ネットなどを通じて音楽が世界に広がって<br>いる現在、音楽で必要な外国語を学びま<br>す。  | 1<br>•<br>前 | 30   | 2   | 0 |    |          | 0 |    |   | 0 |         |
| 6  | 0                    |      |   | 外国語 2                   | ネットなどを通じて音楽が世界に広がって<br>いる現在、音楽で必要な外国語を学びま<br>す。  | 1 • 後       | 30   | 2   | 0 |    |          | 0 |    |   | 0 |         |
| 7  | 0                    |      |   | 音楽基礎 1                  | 音楽に携わる者として必要な基礎知識を学<br>びます。楽譜の読み方をはじめ、コンサー<br>トやイベントの業務に合わせた内容も学ん<br>でいきます。  | 1<br>·<br>前 | 30   | 2   | 0 |    |          | 0 |    |   | 0 |         |
| 8  | 0                    |      |   | 音楽基礎 2                  | 音楽に携わる者として必要な基礎知識を学びます。楽譜の読み方をはじめ、コンサートやイベントの業務に合わせた内容も学んでいきます。  | 1<br>·<br>後 | 30   | 2   | 0 |    |          | 0 |    |   | 0 |         |
| 9  | 0                    |      |   | イベント・メ<br>ディア業界研<br>究 1 | プロとして知っておくべき名曲をポピュ<br>ラー音楽を中心に、歴史をたどりながら<br>CD・ビデオ・DVDなどで学びます。またポ<br>ピュラー音楽以外にクラシックから民族音<br>楽まで、幅広いジャンルの学習を行いま<br>す。 | 1<br>•<br>前 | 30   | 2   | 0 |    |          | 0 |    |   | 0 |         |
| 10 | 0                    |      |   | イベント・メ<br>ディア業界研<br>究 2 | プロとして知っておくべき名曲をポピュ<br>ラー音楽を中心に、歴史をたどりながら<br>CD・ビデオ・DVDなどで学びます。またポ<br>ピュラー音楽以外にクラシックから民族音<br>楽まで、幅広いジャンルの学習を行いま<br>す。 | 1<br>• 後    | 30   | 2   | 0 |    |          | 0 |    |   | 0 |         |

| 11 | 0 |   | 音 楽 ビ ジ ネ<br>ス・マネージ          |  | 1             | 30  | 2 | 0 |   | 0 |   |   | 0 |   |
|----|---|---|------------------------------|--|---------------|-----|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 12 |   | 0 | メント 1<br>音 楽 ビ ジ ネ<br>ス・マネージ | ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・   | 前<br>1<br>•   | 30  | 2 | 0 |   | 0 |   |   | 0 |   |
| 13 | 0 |   | メント2<br>ミュージック<br>リテラシー1     | 音楽業界、音楽に関連した職業に就くための知識の幅を広く学習します。アーティス   | 後<br>1<br>· 前 | 30  | 2 | 0 |   | 0 |   |   | 0 |   |
| 14 | 0 |   | ミュージック<br>リテラシー2             | 音楽業界、音楽に関連した職業に就くための知識の幅を広く学習します。アーティス   | 1 . 後         | 30  | 2 | 0 |   | 0 |   |   | 0 |   |
| 15 | 0 |   | コンサート概<br>論 1                | コンサートに関する知識を学び、単なる技術者としてだけでなく業界をリードする人材としての知識、能力も身につけます。   | 1<br>•<br>前   | 30  | 2 | 0 |   | 0 |   |   | 0 |   |
| 16 | 0 |   | コンサート概<br>論 2                | コンサートに関する知識を学び、単なる技<br>術者としてだけでなく業界をリードする人<br>材としての知識、能力も身につけます。   | 1 • 後         | 30  | 2 | 0 |   | 0 |   |   | 0 |   |
| 17 | 0 |   | コンサートプ<br>ロダクト1              | くコなど、<br>・制作コース><br>イブ会場の研す。<br>くコなど、大学では、<br>・リートメートをですが、<br>・リートメートののですが、<br>・リートメートののですが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが、<br>・ロートが ・ロー・<br>・ロー・<br>・ロー・<br>・ロー・<br>・ロー・<br>・ロー・<br>・ロー・<br>・ロー・<br>・ロー・<br>・ロー・<br>・ロー・<br>・ロ | 1 • 前         | 240 | 8 |   | 0 | Δ | 0 | Δ | 0 | 0 |
| 18 | 0 |   | コンサートブ<br>ロダクト2              | マコンサート制作コーストーストーストーストーストーストーストースを場の研究のアウン・マイクの取りを学びままで、一大のでは、サートをでは、サーヤをでは、サーヤをでは、サーヤをでは、サーヤをでは、サーヤをでは、サーヤをでは、サーヤをでは、サーヤをでは、サーヤをでは、サーヤをでは、サーヤででは、サーケーでは、サーケーでは、サーケーでは、サーケーでは、サーケーでは、サーケーでは、サーケーでは、サーケーでは、サーケーでは、サーケーでは、サーケーでは、サーケーでは、大きの根が、基本をでは、大きの根が、基本をでは、大きの根が、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は   | 1 • 後         | 240 | 8 |   | 0 | Δ | 0 | Δ | 0 | 0 |

| 19 |   | ( | 0 | ライブステー<br>ジ鑑賞 1    | アーティストの生演奏や講演などを聴き、<br>アーティストおよび周辺も含めたプロの技<br>術を学びます。                                     | 1<br>•<br>通 | 15 | 1 | 0 |   | 0 | Δ | 0 |   | 0 |
|----|---|---|---|--------------------|---|-------------|----|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 20 |   | ( | 0 | キャリアゼミ<br>1        | 各進路に対応する専門分野の教員が指導す<br>るゼミです。   | 1<br>·<br>後 | 15 | 1 | 0 |   | 0 |   | 0 |   | 0 |
| 21 |   | ( | 0 | 資格対策講座<br>1        | ビジネス能力検定(B検)ジョブパス、JPPA<br>映像音響処理技術者試験、Pro tools、イベ<br>ント検定試験、MIDI検定、MOSなどの資格受<br>験対策講座です。 |             | 15 | 1 | 0 |   | 0 |   | 0 |   |   |
| 22 |   | ( | 0 | 資格対策講座<br>2        | ビジネス能力検定(B検)ジョブパス、JPPA<br>映像音響処理技術者試験、Pro tools、イベ<br>ント検定試験、MIDI検定、MOSなどの資格受<br>験対策講座です。 | 1<br>·<br>後 | 15 | 1 | 0 |   | 0 |   | 0 |   |   |
| 23 |   | ( | 0 | 海外研修               | 各学科の特色に基づいたプランで、本場の<br>エンタテインメントを体験します。 (研修<br>先・行程は毎年異なります。)                             | 1<br>•<br>通 | 30 | 1 | 0 |   | Δ | 0 | 0 |   |   |
| 24 |   | ( | 0 | 特別講義 1             | 特別講師を招いた授業やイベントなどを開<br>催します。  | 1<br>•<br>前 | 15 | 1 | 0 |   | 0 |   | 0 |   |   |
| 25 |   | ( | 0 | 特別講義 2             | 特別講師を招いた授業やイベントなどを開<br>催します。  | 1<br>•<br>後 | 15 | 1 | 0 |   | 0 |   | 0 |   |   |
| 26 |   | ( | 0 | イ ン タ ー ン<br>シップ 1 | 本校提携・協力関係の企業で行われる企業<br>研修です。  | 1<br>•<br>後 | 30 | 1 |   | 0 | 0 |   | 0 |   |   |
| 27 |   | ( | 0 | マ ル チ メ<br>ジャー1    | 自分が選択している専攻・コース以外に、<br>学科の枠にとらわれず幅広く学ぶ授業で<br>す。   | 1<br>•<br>後 | 15 | 1 |   | 0 | 0 |   | 0 |   |   |
| 28 | 0 |   |   |                    | 自分の人生のキャリアについて、すべてに<br>共通するスキルを学びます。  | 2<br>•<br>前 | 30 | 1 | 0 |   | Δ | 0 | Δ | 0 |   |
| 29 |   | ( | 0 |                    | 自分の人生のキャリアについて、すべてに<br>共通するスキルを学びます。  | 2<br>•<br>後 | 30 | 1 |   | 0 | 0 |   | 0 |   |   |
| 30 | 0 |   |   |                    | 音楽業界を含む、社会人として必要な事を<br>学び、理解を深めます。  | 2<br>•<br>通 | 30 | 1 |   | 0 | Δ | 0 | 0 |   |   |
| 31 |   | ( | 0 | ビジネスト<br>レーニング2    | 音楽業界を含む、社会人として必要な事を<br>学び、理解を深めます。  | 2<br>•<br>通 | 30 | 1 |   | 0 |   | 0 | 0 |   |   |
| 32 |   | ( | 0 | スポーツ実習<br>2        | レクリエーションを兼ねた短期のスポーツ<br>講座を、カレッジ全体で行います。   | 2<br>•<br>前 | 30 | 1 |   | 0 | 0 |   | 0 |   |   |

| 33 |   | 0 | ボランティア<br>2             | 社会貢献、地域貢献といった体験を通して、自身も社会に関わる喜びを得ていきます。   | 2<br>•<br>後 | 30  | 1 |   | 0 | 0 | 0 |   |   |
|----|---|---|-------------------------|---|-------------|-----|---|---|---|---|---|---|---|
| 34 | 0 |   | 音楽基礎3                   | 音楽に携わる者として必要な基礎知識を学びます。楽譜の読み方をはじめ、コンサートやイベントの業務に合わせた内容も学んでいきます。   | 2<br>•<br>前 | 30  | 2 | 0 |   | 0 |   | 0 |   |
| 35 |   | 0 | 音楽基礎 4                  | 音楽に携わる者として必要な基礎知識を学びます。楽譜の読み方をはじめ、コンサートやイベントの業務に合わせた内容も学んでいきます。   | 2<br>•<br>後 | 30  | 2 | 0 |   | 0 |   | 0 |   |
| 36 | 0 |   | イベント・メ<br>ディア業界研<br>究3  |   | 2<br>•<br>前 | 30  | 2 | 0 |   | 0 |   | 0 |   |
| 37 |   | 0 | イベント・メ<br>ディア業界研<br>究 4 |   | 2<br>·<br>後 | 30  | 2 | 0 |   | 0 |   | 0 |   |
| 38 | 0 |   | ミュージック<br>リテラシー3        | 音楽業界、音楽に関連した職業に就くための知識の幅を広く学習します。アーティストとともに仕事をするうえで、音楽コンテンツ作成の流れやアーティストの仕事の流れの理解を目的とします。  | 2<br>•<br>前 | 30  | 1 | 0 |   | 0 |   | 0 |   |
| 39 |   | 0 | ミュージック<br>リテラシー4        | 音楽業界、音楽に関連した職業に就くための知識の幅を広く学習します。アーティストとともに仕事をするうえで、音楽コンテンツ作成の流れやアーティストの仕事の流れの理解を目的とします。  | 2<br>•<br>後 | 30  | 1 | 0 |   | 0 |   | 0 |   |
| 40 | 0 |   | コンサートプロダクト3             | T・サースをでは、<br>一大の名が、<br>一大の名が、<br>一大の名が、<br>一大の名が、<br>一大の名が、<br>一大の名が、<br>一大の名が、<br>一大の名が、<br>一大の名が、<br>一大の名が、<br>一大の名が、<br>一大の名が、<br>一大の名が、<br>一大の名が、<br>一大のので、<br>一大のので、<br>一大のので、<br>一大のので、<br>一大のので、<br>一大のので、<br>一大のので、<br>一大のので、<br>一大のので、<br>一大のので、<br>一大のので、<br>一大のので、<br>一大のので、<br>一大のので、<br>一大のので、<br>一大のので、<br>一大のので、<br>一大のので、<br>一大のので、<br>一大のので、<br>一大のので、<br>一大のので、<br>一大のので、<br>一大のので、<br>一大のので、<br>一大のので、<br>一大のので、<br>一大のので、<br>一大のので、<br>一大のので、<br>一大のので、<br>一大のので、<br>一大のので、<br>一大のので、<br>一大のので、<br>一大のので、<br>一大のので、<br>一大のので、<br>一大のので、<br>一大のので、<br>一大のので、<br>一大のので、<br>一大のので、<br>一大のので、<br>一大のので、<br>一大のので、<br>一大のので、<br>一大のので、<br>一大のので、<br>一大のので、<br>一大のので、<br>一大のので、<br>一大のので、<br>一大のので、<br>一大のので、<br>一大のので、<br>一大のので、<br>一大のので、<br>一大のので、<br>一大のので、<br>一大のので、<br>一大のので、<br>一大のので、<br>一大ので、<br>一大ので、<br>一大のので、<br>一大ので、<br>一大のので、<br>一大ので、<br>でのいまし、<br>でのいまで、<br>でのいまで、<br>でのいまで、<br>でのいまで、<br>でのいまで、<br>でのいまで、<br>でのいまで、<br>でのいまで、<br>でのいまで、<br>でのいまで、<br>でのいまで、<br>でのいまで、<br>でのいまで、<br>でのいまで、<br>でのいまで、<br>でのいまで、<br>でのいまで、<br>でのいまで、<br>でのいまで、<br>でのいまで、<br>でのいまで、<br>でのいまで、<br>でのいまで、<br>でのいまで、<br>でのいまで、<br>でのいまで、<br>でのいまで、<br>でのいまで、<br>でのいまで、<br>でのいまで、<br>でのいまで、<br>でのいまで、<br>でのいまで、<br>でのいまで、<br>でのいまで、<br>でのいまで、<br>でのいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でい、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でいまで、<br>でい、<br>でいまで、<br>でいな、<br>でい、<br>でい、<br>でい、<br>でい、<br>でい、 | 1.前         | 270 | 2 |   | 0 | 0 | Δ | 0 | 0 |

| 41 | 0 |                 | マートででいた。<br>マートででは、<br>では、<br>では、<br>では、<br>では、<br>では、<br>では、<br>では、                  | 1.後         | 270 | 2  |   | 0 | 0 |   | Δ | 0 | 0 |
|----|---|-----------------|---|-------------|-----|----|---|---|---|---|---|---|---|
| 42 | 0 | カレッジプロ<br>ジェクト  | 学生委員会、クラスなどで計画したプロ<br>ジェクトや自主コンサート、ボランティア<br>活動などを実行します。                              | 1<br>•<br>通 | 30  | 2  |   | 0 | 0 |   | 0 |   | 0 |
| 43 | 0 | ライブステー<br>ジ鑑賞 2 | アーティストの生演奏や講演などを聴き、<br>アーティストおよび周辺も含めたプロの技<br>術を学びます。                                 | 1<br>•<br>通 | 15  | 6  | 0 |   | 0 |   | 0 |   | 0 |
| 44 | 0 | キャリアゼミ<br>2     | 各進路に対応する専門分他の教員が指導す<br>るゼミです  | 2<br>•<br>前 | 15  | 1  | 0 |   | 0 |   | 0 |   | 0 |
| 45 | 0 | キャリアゼミ<br>3     | 各進路に対応する専門分他の教員が指導す<br>るゼミです  | 2<br>·<br>後 | 15  | 1  | 0 |   | 0 |   | 0 |   | 0 |
| 46 | 0 | 資格対策講座<br>3     | ビジネス検定、MIDI検定、ラジオ・音響技<br>能検定、JPPA、Pro Tools、イベント検定、<br>Word・Excel検定などの資格受験対策講座で<br>す。 | 2<br>•<br>前 | 15  | 1  | 0 |   | 0 |   | 0 |   |   |
| 47 | 0 |                 | ビジネス検定、MIDI検定、ラジオ・音響技<br>能検定、JPPA、Pro Tools、イベント検定、<br>Word・Excel検定などの資格受験対策講座で<br>す。 | 2<br>•<br>後 | 15  | 1  | 0 |   | 0 |   | 0 |   |   |
| 48 | 0 | 特別講義3           | 特別講師を招いた授業やイベントなどを開<br>催します。  | 2<br>•<br>前 | 15  | 1  | 0 |   | 0 |   | Δ | 0 |   |
| 49 | 0 | 特別講義 4          | 特別講師を招いた授業やイベントなどを開<br>催します。  | 2<br>·<br>後 | 15  | 1  | 0 |   | 0 |   | Δ | 0 |   |
| 50 | 0 | インターン<br>シップ2   | 本校提携・協力関係の企業で行われる企業<br>研修です。  | 2<br>·<br>後 | 450 | 15 |   | 0 |   | 0 |   | 0 | 0 |
| 51 | 0 | マルチメジャー2        | 自分が選択している専攻・コース以外に、<br>学科の枠にとらわれず幅広く学ぶ授業で<br>す。                                       | 2<br>•<br>前 | 15  | 1  | 0 |   | 0 |   | 0 |   |   |

| 合計 |        | 2625 単位(単位時間)             |
|----|--------|---------------------------|
| 1  | *: III | 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 |

| 卒業要件及び履修方法 |   | 授業期間等     |      |
|------------|---|-----------|------|
| 卒業要件       | · 卒業時に必修科目1320時間取得および選択科目を450時間以上取得し、合計1770時間以上取得すること | 1 学年の学期区分 | 2 期  |
| 履修方法       | 1年次は必修900時間履修すること<br>2年次は必須420時間、選択科目450時間以上履修すること    | 1 学期の授業期間 | 15 週 |

# (留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合 については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。